



## 夕焼けの色が好きだからです。

1年生の国語の授業でのことです。一人ずつ黒板の前に出てみんなに向かって、「自分の名前」と「好きな色」と、言えるようだったら「その色が好きな理由」を付け足して発表する場面のことです。発表途中からのぞいたので定かではないのですが、ほとんどの子が名前と色だけ言って発表を終えていました。その様子を見ていて、好きな理由って難しいかも、と改めて気づかされました。黒が好きな理由、カレーライスが好きな理由、肴は炙ったイカでいい理由。大人だって理由を尋ねられてそうやすやすと答えられるものではないと思います。それもみんなの前で。好きだから好きなので、ふだんあまり理由を考えたりはしません。それだけに理由を思いつくのって案外難しかったです。

ところが、ある子どもの発表の時、名前とオレンジ色が好きだと言い終えた後、『理由は、夕焼けの色が好きだからです。』と付け加えました。その発表を聞いたとき、“夕暮れ時、沈んでいくお日様が染め上げる空の茜色の美しさ”がありありと頭に思い浮かびました。その情景とともに、ただ“オレンジ”という単語を耳にただけでは感じることのできなかった、その子どもの気持ちがあたかも夕焼けが創り出す諧調の美しさを目にしたときのように心に届きました。

言葉で何かが表現されるとき、他の誰かに思いが伝わるということ強く感じました。1年生の子どもたちも刺激を受けたようです。その発表がきっかけで、すでに色と名前だけの発表を終えていた2人ほどがあらためて生き生きと手をあげて「火山の噴火の色みたいで好き」「太陽の色みたいで好き」と理由を口にしました。ちょっと聴くと前の発表の夕焼けを真似ただけのようにも思えますが、学ぶことって真似ることから始まると言われるぐらいです。ともだちの答え方がいくなって感じられることが大切です。後から答えた子どもにとっては、先の夕焼けの発表に<sup>対話的</sup>に刺激を受けて<sup>主体的に</sup>生き生きと手をあげ、自分の<sup>深い学び</sup>を公表できたのですからとっても素敵な学びあいです。

本校では『みんなで思考・判断・表現し合える子の育成』を目指して職員の研修を進めておりますが、今年度は、子どもたちとともに学び続ける姿を目指して言葉の力を高める取組を進めてまいります。

1年生を仲間に迎え、つい少し前にはじまったと思っていたら、早くも暦の最初の一葉がめくられようとしている今年度。一つ上の数字の書かれた教科書を開き、一つ上の立場でスタートした新学期。教室には新たな学級目標や個人目標が掲示され、係活動や委員会活動や休み時間の遊び場所の変更など人と人との新しい関わりが始まっています。教室の様子をのぞいて回っているとそこかしこから、はじめの一步を踏み出した子どもたちのいい顔・いい声・いい動きが見られます。もちろん悔しい表情を浮かべているのを見かけることもあります。思い通りにならなかつたり、やりたかったことが叶わなかつたり。でもそれは向上心の裏返しです。そんないつかを見つめる表情はやはりいい顔だって感じます。

子どもたちにはともだちや他の学年の子どもと関わりながら、笑ったり、泣いたり、怒ったり、楽しんだりとたくさん心を使って大きく成長してほしいと思っています。

授業中や昼休み、校地内散策する子どもたち。生え始めたばかりの若草の隙間からバッタを見つけたり、側溝の流れに小魚を見つけたり。暦の次頁をのぞくとそこには「夏」の文字。でも、いましばらくは季節の行きつ戻りつが続きそうな気配です。どうぞお体にご留意いただければと存じます。